

みちよみやま

2025年 夏
vol.117

特集

明日のために、今知ろう

1~4 緩和ケアは選べる時代へ

5 私らしく、家族らしく

● 自宅療養を続けたいけれど

6 インフォメーション

裏表紙 地域とともに、愛泉会



緩和ケアは選べる時代へ

1990年、日本の医療制度に緩和ケアが組み込まれたことをきっかけに緩和ケア病棟の整備が進み、今では緩和ケアを自宅や施設でも受けられるようになりました。人生100年時代。2人に1人ががんになるといわれる今、がんで亡くなられる方の10人に1人以上が緩和ケア病棟で終末期を迎えています。もし自分が、あるいは家族が緩和ケアを受けることになったら、あなたはどんな選択をしますか？

■緩和ケアを受ける場所はさまざま

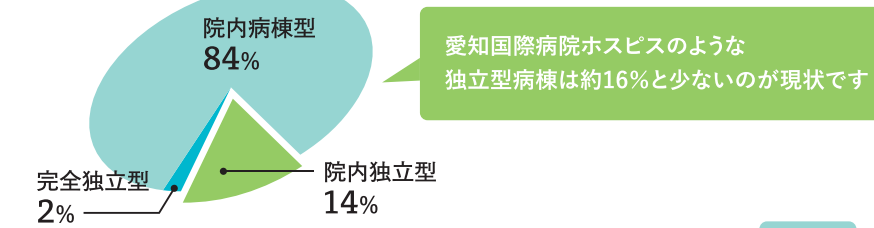


緩和ケアが身近となった今自分らしい過ごし方を見つけませんか

約30年前、がん患者さんは自宅や一般病棟で終末期を過ごすことがほとんどでした。がん患者数の増加や少子高齢化によって、がん患者さんが安心して過ごすうえで必要なケアを自宅で受けることが難しくなり、緩和ケア病棟の整備が進むだけでなく、医療提供や看取りも行う施設（ナースিংホームなど）も増えました。2006年に「がん対策基本法」が成立すると積極的治療を行う急性期病棟でも緩和ケアチームが増加、緩和ケアがより身近になりました。

緩和ケアをいつから始めるのか。緩和ケアをどこで受けるのか。選択肢は広がっています。もし「がん」と診断されても「治療できない」といわれても、一人で抱え込むことはありません。親しい方や家族と話し合ったり、信頼できる医師や看護師に相談することで、自分らしい過ごし方が見えてくるかもしれません。

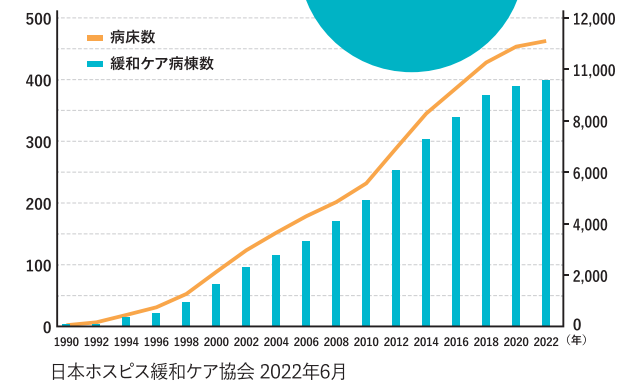
■緩和ケア病棟の内訳



ホスピス医長
大村 浩之

約30年で、
緩和ケア病棟は
約90倍に増えました

■緩和ケア病棟数・病床数



愛知国際病院のホスピスの原点は「あたたかいおもてなし」

愛知国際病院ホスピスは「あたたかいおもてなし(hospitium)」を語源とする「ホスピス」であることを大切に、1999年愛知県で最初に設立されたホスピスです。一般病棟と外廊下でつながる院内独立型で、開所式には、日本初の独立型ホスピスを誕生させた故日野原重明医師(当法人の元理事、評議員)も来訪されました。

緩和ケアの先駆けとして多くの実績を重ね、日本緩和医療学会の研修施設として認定されるほか、近隣の看護学校研修、海外からも医療関係者の視察を積極的に受け入れるなど、緩和医療の教育も担っています。

お気軽にご相談ください

1 ホスピス見学

月～土曜(8:30～17:30)
事前にご連絡いただくとスムーズです。将来的にホスピスへの入院をお考えの方、そのご家族の見学を受け付けています。



2 ホスピス外来

予約制(月・水・金曜の午後)
ホスピス医師と看護師が症状やご希望をお伺いし、ホスピスでの生活についてお伝えします。



電話相談件数 388件

2024年度の見学件数 90件

2024年度の外来件数 226件

お問い合わせ

愛知国際病院 地域連携室

☎0561-73-9179 (月曜～土曜 8:30～17:30)

自宅のように過ごせるホスピス

「ホスピスを自宅に」を目指して設立された愛知国際病院のホスピス病棟は、緑豊かな環境に包まれ、全ての個室(20床)からお庭を眺められます。自分らしい時間や「当たり前の日常」を過ごしていただけるよう、私たちスタッフは、患者さんやご家族が大切にしている生活や想いを理解したい、そう思っています。日々変化するお身体の状態に応じたケアを提供するなか、「心地いい」と喜んでくださるときが一番の喜びです。

ホスピス病棟看護師



24時間
いつでも面会

病室内や
棟内家族室で
宿泊できる

日中は
ペットと一緒に
過ごせる

一緒に旅をしている気持ち

かけがえのない時間を共有できることに、いつも敬意と感謝をもって演奏しています。演奏中は、患者さんの心が求める音を見つけようと、一緒に旅している気持ちです。

ホスピス音楽療法士 村瀬 香



「外来→在宅→ホスピス」
同じ主治医がサポートします

緩和ケア外来では、他院でがん治療を受けている患者さんを対象に、症状やご家族の状況を確認しながら、ときにはダブル主治医としてベストの選択と一緒に考えます。外来への通院が難しくなり、訪問診療やホスピス入院など状況が変わっても、主治医としてずっと患者さんに寄り添い、サポートします。

■ 愛知国際病院ホスピスの入院経路

入院経路	転院 自宅から 自院転棟 施設	57% 23% 18% 2%
------	--------------------------	-------------------------

外来時から寄り添います

がん患者さんにとって、積極的治療から在宅医療へと主治医が変わることは不安で心細いことだと思います。当院は、外来から同じ主治医が担当する体制が整っているので、患者さんやご家族の状況も充分理解し、不安やお悩みにも寄り添います。

緩和ケア科
医師 米山 哲司



緩和ケア外来

予約制(木曜 14:15~17:15)
TEL 0561-73-7721

在宅緩和ケア

愛泉会のネットワークを活かし、医師・看護師がご自宅に訪問する「在宅緩和ケア」も行っています。お気軽にお問い合わせください。

訪問看護ステーション えまい
TEL 0561-73-8154
(月曜~金曜 8:30~17:30)
※ご利用には24時間365日対応

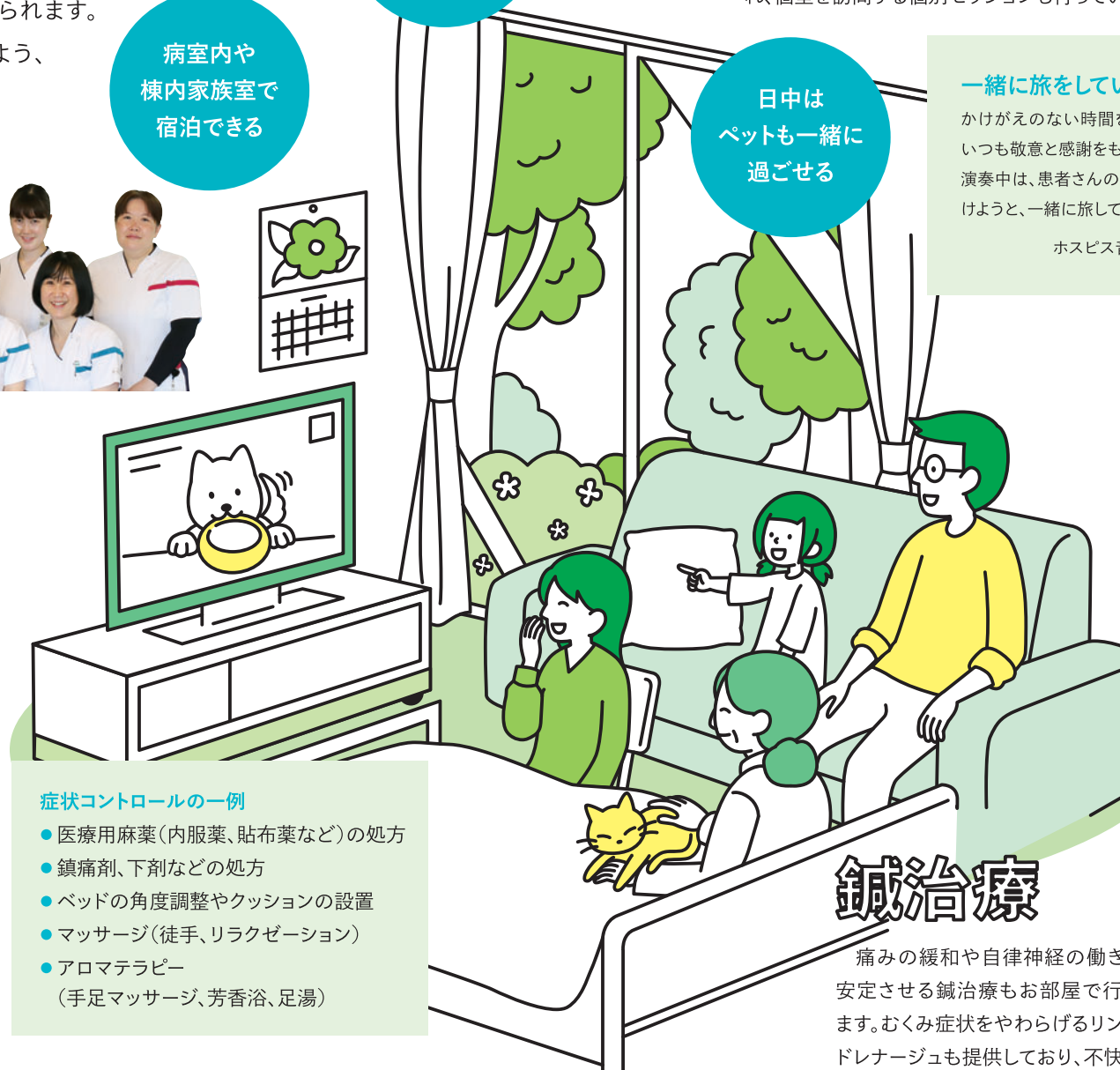
愛知国際病院 在宅診療部
TEL 0561-73-3191
(月曜~土曜 8:30~17:30)

症状のコントロール

がんによる痛みはがんが発生した場所や大きさによって異なります。内服薬だけでなく、貼る薬、坐薬、注射剤など、患者さんの状態に合わせて最適な薬剤を使い分けたり併用したりして症状をコントロールします。また、専門性の高い医療用麻薬も安心して処方できる体制を整えています。薬剤以外にもマッサージやポジショニングといった技術を用いて薬の効果を高め、症状緩和を促進します。

症状コントロールの一例

- 医療用麻薬(内服薬、貼布薬など)の処方
- 鎮痛剤、下剤などの処方
- ベッドの角度調整やクッションの設置
- マッサージ(徒手、リラクゼーション)
- アロマセラピー(手足マッサージ、芳香浴、足湯)



鍼治療

痛みの緩和や自律神経の働きを安定させる鍼治療もお部屋で行います。むくみ症状をやわらげるリンパドレナージュも提供しており、不快な症状を和らげることができます。

リハビリ療法

「トイレに移動したい」「少し歩きたい」などのご希望に応じてリハビリスタッフがお部屋を訪問します。ときには患者さんの背中を軽くマッサージしながらお話を耳を傾けるといった時間を過ごすことも。



日常を運ぶボランティア

ささやかな癒しをお届けするボランティア活動は、ホスピス設立時からずっと続いています。

アレンジフラワー

思いも一緒に
お届けします

一つひとつ心を込めてお花を生けています。中庭に可憐な花が咲く季節は、摘み立てのお花を生け、外の空気も一緒にお部屋へお届けしています。



ハンドメイド

お部屋に
温もりという彩りを

お部屋のネームプレート、ドアストップ、ベッドカバー、ベッドサイドの小物入れなど、手作りの温もりが少しでもお部屋を彩ってくれば、と願っています。



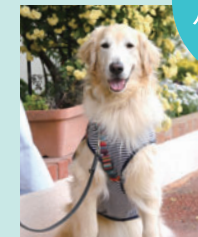
アロママッサージ

ご家族の心も
ほぐしたい

リンパの流れをよくするアロママッサージは張りつめた心をほぐす効果もあります。毎週火曜と水曜の午前にはご家族にも提供しています。(患者さんは看護師が対応します)



ボランティア犬の
ハルくん登場!



詳しくはP6を見てね

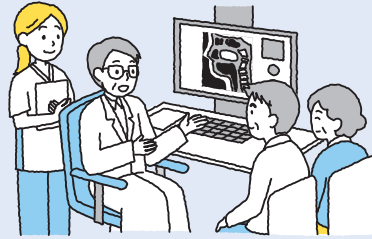
私らしく、家族らしく

愛泉会のご本人やご家族の「想い」をつなぐ選択を応援します



相談者：77歳男性

8年前に咽頭がんになり放射線などの治療を終えました。昨年冬に肺がんが見つかりましたが、もう積極的な治療はしないと決め、訪問看護のお世話になりながら妻と二人で暮らしています。月に1度の通院は市内に住む長女が送迎をしてくれます。ただ最近、たんが絡んで眠れない夜が続いています。妻に負担をかけたくないのでホスピスに入るつもりですが、主治医から「まだ早い」と言われ、看護師さんには「少し入院して症状が軽くなると、気持ちも楽になりますよ」と勧められています。



自宅療養を続けたいけれど



ポイント

ご自宅での生活を続けるために、医療者に相談しながら、症状をコントロールすることも大切です。

専門的な緩和ケアを外来で提供します。ご本人やご家族の想いも大切にしながら、ご自宅での過ごし方やホスピスに関する相談などにのっています。

相談できる、一緒に考えられる、愛泉会。

できるだけ安心して過ごすことができる場所を、一緒に考えます

- ☒ さまざまな選択肢の中から、ご希望にできるだけ沿えるよう、お体への負担も考慮した提案を行います。
- ☒ ホスピス見学もお受けしています。「決まっていなくて」「まだ先だけど」という方も遠慮なくお問い合わせください。



お問い合わせ



愛知国際病院 地域連携室

☎0561-73-9179（月曜～土曜 8:30～17:30）

Information

インフォメーション

愛泉会

五色園Nカフェオープンで講座開催

4月24日（木）、日進市初となる住民主導の認知症カフェ「Nカフェ」が五色園にオープン！当法人も一緒にカフェを盛り上げるべく、出前講座を開催しました。当日は日進市市長をはじめ、主旨に賛同する多くの方が来場され、参加者は70名以上。医療や介護の現場での認知症対応の紹介を通して、参加者さんとの会話も盛り上がりしました。これからも地域の方々の想いに応えていきます！



五色園Nカフェ（認知症について知りたい、話したい方、誰でも気軽に参加OK）

【日時】毎週第4木曜 10:00～12:00 【場所】五色園第一集会所 【参加費】100円

ホスピスボランティア犬「ハルくん」登場！

ゴールデンレトリバーのハルくん（4歳）がボランティア犬として活動開始！当院ホスピスでは2003年（3年間）、2007年（6年間）の2期にわたって2匹のワンちゃんが活躍してくれていたもので、ハルくんは3代目。毎週火曜の午後、ハンドラーやボランティアコーディネーターと一緒に活動しています。患者さんやご家族と共有スペースやお部屋、庭などで過ごす愛くるしい様子を、職員も癒されています。

愛泉館でも
月1回活動するよ！



ホスピス賛助会費 収支報告

ホスピスの環境整備や季節の行事など、さまざまな活動は賛助会のみなさまに支えられています。お気持ちをお寄せくださったみなさま、ありがとうございました。

収入	寄付金	1,375,730
	研究研修費	18,100
	環境設備費	691,224
支出	消耗品費	428,654
	広告宣伝費	6,370
	建築費補填、運営費	231,382
	支出合計	1,375,730



表紙のイラスト

カワセミとハスの花

私はふわふわした動物を描くことが大好きです。「みなみやま」の表紙では、『季節を象徴する鳥のつがいと植物』をモチーフに、季節らしい色味でシリーズ展開していく予定です。夏号は、カワセミの鮮やかでふわとした羽毛と、優美なハスの花を、カラーインクののじみで表現しました。普段はiPadでデジタルイラストを描いていますが、カラーインクならではの温かみと柔らかさを活かした表現もお楽しみいただけたらと思います。

名古屋学芸大学 メディア造形学部 デザイン学科 2年 前田 理央香さん



編集こぼれ話 桜、紫陽花に続いて間もなく芙蓉が咲くホスピスの庭ですが、「花や野菜は足音で育つ」と言われるようにボランティアさんのお手入れのおかげでいつも美しく保たれています。蕾を見て「いつの間に!」、散る花びらを見て「また来年ね」と独り言の多いわたしの足音も、少しは役に立っているといいなと思います。（諸石）



あなたと共に、パートナーシップ宣言

わたしたちは、患者さん・ご利用者さんやご家族の診療・介護への参加を推進しています。



健康 イベント

2025年9月6日(土)

わくわく健康フェス in マチテラス日進

昨年大好評だった愛泉会「わくわく健康フェス」を今年は8月にオープン予定のマチテラス日進で開催します！各種健康測定のほか、相談コーナーや未就学児向けの看護師なりきり体験コーナーも！SNSなどで詳細をお知らせしますので、ぜひチェックしてくださいね！

【時間】10:00～16:00(予定)

【場所】道の駅マチテラス日進

【参加費】無料(一部有料プログラムあり)



昨年の
わくわく健康
フェスの様子

道の駅
マチテラス日進との
共同企画



【管理栄養士 presents】

動けるからだは栄養から

たんぱく質の適切な摂取量や摂取方法について学びます。最後に行うクイズはいつも盛り上がります！



専門職が地域で行う
「出前講座」も好評です！



イベントに関するお問い合わせ

☎0561-73-7721(病院代表)

✉ f.moroishi@aisen-kai.jp(担当: 諸石)

教育 連携

大学生が手掛ける 表紙イラスト

2021年以降、広報誌「みなみやま」の表紙イラストは、コンペで選出した名古屋学芸大学メディア造形学部デザイン学科の学生さんが1年分(4作品)を制作！「季節感」や「親しみやすさ」を学生さんらしいフレッシュな感性で表現した作品は思わず手に取りたくなるものばかり。ホームページからはバックナンバーもお楽しみいただけるので、ぜひチェックしてみてくださいね！



女子 サッカー部

愛知東邦大学女子サッカー部 なつまつり 今年も開催！

昨年は1,500人超が来場した「なつまつり」が8月3日(日)に開催決定！フットボールエリアやウォーターゾーン、ステージプログラムやキッチンカーなど地域の皆さんにお楽しみいただけるコーナーがもりだくさん。選手が企画から運営まで行いイベントで、会場は活気と笑顔でいっぱい。当法人のブースにもぜひ遊びにきてください！

当院駐車場から
巡回バス運行！



地産 地消

6月12日(木) 日進グリーンセンター「ni+co(ニコ)」オープン！

日進園芸センターが4倍の面積になって、農業者と消費者が交わる青空朝市のような、笑顔あふれる店舗としてリニューアルオープンしました。

鮮度の良い地元産の安全安心な農産物はもちろん、新店舗では鮮魚やお弁当も販売！また園芸資材販売スペースを拡大し、ご要望の多かった肥料等の種類を追加して販売します。

日進グリーンセンター ni+co

【住所】日進市蟹甲町池下213-1 【TEL】0561-72-0016

【営業時間】4～9月(8:30～18:00)、10～3月(8:30～17:00) 【定休日】毎週水曜(正月、棚卸休みあり)



好きな割合で精米して、
鮮度抜群のお米をご家庭へ！

- 好きな銘柄・量を選べる！
- その場で精米可能

コメショップに
注目！



【誌面協力】日進市農政課

賛助会員募集の お知らせ

アメニティーの充実(施設環境、造園、園芸)、ホスピスでの諸行事、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のために是非ご協力をお願いいたします。(ご入会いただいた方には年に4回広報誌をお送りいたします)下記の口座に会費をお振り込みください。

【①郵便局窓口利用】郵便振替口座 00890-5-3757

【②ATMおよびインターネット振込利用】ゆうちょ銀行(9900) 店番089 当座0003757

【①②口座名義】愛知国際病院ホスピス賛助会

【一口】1,000円(おいくらでも結構ですが、できましたら、5口以上でお願いいたします)



【医療法人財団 愛泉会】

- 愛知国際病院 ■老人保健施設 愛泉館 ■指定居宅介護支援事業所 愛泉館 ■日進市東部地域包括支援センター
- 訪問看護ステーション えまい ■有料老人ホーム カナン 【関連施設】アジア保健研修所(AHI)

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山987-31 Tel.0561-73-7721(代) Fax.0561-73-7728 <http://aisen-kai.jp/>

医療法人財団 愛泉会 広報誌「みなみやま117号」 発行日:2025年7月1日 発行人:井手宏 編集発行:法人だより委員会 編集長:近藤正嗣

※無断で複写、複製、転載することを禁じます。



お問い合わせ

【受付時間】月～土曜 8:30～17:30

医療
について

地域連携室

☎0561-73-9179

介護
について

日進市東部地域包括支援センター

☎0561-74-1300